

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 4 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス ぞうさん 長丘教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		集団で活動できるスペースの確保を行っている。学校休業日は公園等、屋外での活動も取り入れている。	利用人数や活動の内容に応じてスペースの確保ができるよう、工夫していく。学校の日でも屋外の活動(公園等)を検討していく。
	2	職員の配置数は適切である	○		職員を加配し、基準を遵守した配置を行っています。	今後も基準を遵守した配置を行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		階段や段差には手すりの設置を行っている。	建物の構造上、段差が生じている。必要に応じて改善すべき設備等について検討しながら安全面への配慮を行っていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼や終礼での意見交換や、必要に応じて会議を行い、情報の共有や意見を集め、広く職員が参画できるように努めている。	今後も職員同士のコミュニケーションを大切に、業務改善に反映していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を保護者の皆様に配布し、得たご意見を業務の改善に繋げている。	保護者様の要望や意向の把握を行い、業務内容や支援内容の見直しを行い、改善を図っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は行っていないが、今後検討をしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内や外部の研修を受講し、スキルアップを図っている。	事業所内研修、外部の研修を受講することで、今後も各個人のスキルアップに努めていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		ご利用者様、保護者様のご要望の把握を行ったうえで、課題の明確化や支援方針の統一ができるよう、支援会議を行い、個別支援計画を作成している。	必要に応じて各関係機関と情報共有や相談など連携をとっていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各活動の担当者を中心に立案し、職員全員で行っている。実施しながら日々打ち合わせを行い修正をしている。	ご利用者様やご家族様のニーズ等を反映させながら、活動プログラムの立案を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		楽しく活動していただけるよう、運動・クッキング・工作・お出かけを中心にプログラムを検討している。ご利用者様の意見も取り入れている。	今後もご利用者様やご家族様のニーズ等の把握を行い、様々な体験や挑戦ができるようプログラムの検討を行っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇では、放課後の時間ではできない体験や生活面の課題(食事等)の機会としている。	今後も平日・休日・長期休暇それぞれに応じた課題に取り組めるよう、職員間で話し合いながら、支援を行っていききたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動を軸に個々に応じて個別活動を組み合わせている。	今後も個々の特性やニーズに合わせて集団・個別の活動の組み合わせを行っていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝礼を行い、情報の共有や打ち合わせを行っている。	朝礼に参加できない職員へは個別で伝達を行っている。よりスムーズに伝達が行えるよう、検討していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日終礼を行い、その日のご利用者様の状態や支援内容の振り返りを行っている。翌日引継ぎが必要な内容の確認も行っている。	退社時間の異なる職員がいるため、終礼時以外での打ち合わせや情報共有を都度行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回、個々のご利用者様の状況を記録・共有し、支援の改善に繋げている。	個別支援計画との整合性を高めていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとにモニタリング、保護者様との面談を行い、個別支援計画の見直しを検討している。	今後も継続して実施していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		基本活動を組み合わせ実施している。	地域交流は現段階では実施していない。今後検討していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	コロナ禍のため、リモートや書面での参加も行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に当日の引継ぎを受けるようにしている。	学校行事や下校時刻はご家庭からの連絡をお願いしている。当事業所のご利用日の予定に関しては1か月ごとに書面にて学校にお知らせをしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケア児のご利用、受け入れの予定はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		受け入れ開始時に児童発達支援事業所との連絡や資料を保護者様からいただくことで情報を得ている。	必要に応じて保育所等への訪問を検討する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在該当する方がおらず行っていないが、今後該当する方が出た際には情報提供を行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後必要に応じて連携を図ったり、研修への参加を行っていききたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナウイルス感染予防の観点から行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナ禍のため、参加ができていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時の会話、電話等で情報共有に努めている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		個別の相談に対して助言は行っている。	ペアレントトレーニングは必要に応じて実施を検討していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約時にご説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳や送迎時の会話、電話等で相談に対する助言等の支援に努めている。	日々の変化を確認しながら、悩み等に真摯に対応するよう努めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今年度はコロナ禍のため、保護会を1回実施。来年度は2回実施予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付の窓口をご契約時にご説明している。対応は迅速に行う。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月活動予定表を配布している。事業所内にも活動予定表を掲示し、子どもたちへ活動の概要を発信している。定期的にInstagramにて活動の様子を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報保護の規定があり、取り扱いには十分注意している。書類は鍵付き書庫に保管し、書類の破棄はシュレッダーを使用している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉の使い方や言語以外の手段、視覚情報の活用等、個々に応じた方法を工夫しながらコミュニケーションをとっている。	個々に応じた方法で意思疎通を図るよう努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナウイルス感染予防の観点から行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定している。	周知が不十分な点もあったため、今後保護者の方へ周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を2回実施。	来年度も定期的の実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルの周知、研修への参加を行っている。	研修だけでなく、日々話し合いの機会を持ちながら、個別の対応方法の検討を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		やむを得ず身体拘束を行う場合についてご契約時に保護者様にご説明し、同意を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		ご契約時に情報の把握を行い、職員間で共有をしている。	現在食物アレルギーに該当するご利用者様はいないが、今後も新規受け入れのご利用者様からの情報を確実に把握し、対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		把握したヒヤリハットは報告書を作成し、内容の共有、今後の対応の検討を行っている。	